

9月2日

テーマ：「休ませてあげます」

聖書箇所：マタイの福音書 11章 28節～30節

◆今日のみことば

すべて、つかれた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。  
マタイの福音書 11章 28節

◆メッセージ

「はあ～、疲れた！」学校、遊び、宿題、習い事、部活・・・やることがいっぱい、毎日クタクタでしょう。身体だけではありません。心も。私たちの毎日の生活は楽しいことばかりでなく、嫌なこともたくさんあります。そして嫌なことがあると心が休まらなくなってしまいます。誰かと話していても、食事を食べていても休まりません。嫌なことが無くなれば良いのにも思います。でもひとつ嫌なことが無くなってもまた別の嫌なことが起こるものです。



イエスさまは教えてくださいました。「わたしのところに来なさい」。いつでも、イエスさまのもとに行くこと。問題がなくなることを期待するのではなくて、イエスさまの所に行き、イエスさまに休ませていただくことが教えられています。

やった～、何もしないで、ずっと寝ていられる？いえいえ、続けて、イエスさまは言われました。「あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい」。くびきというのは、牛や馬が荷物を引っ張るときに身につける道具です。休むための道具ではなくて働くための道具です。つまりイエスさまは荷物を下ろして休むのではなく、イエスさまが与えてくださるくびきで荷物を負うことを教えてくださいました。実は、ここでイエスさまがおっしゃっているくびきは二頭の牛を繋ぎ合わせて一つの荷を引かせる、そういうくびきです。イエスさまは「私があなたと一緒に荷物を背負うよ。だから休めるよ」とおっしゃっているのです。重たい荷物を運ぶのは悪いことのようにですが、なぜ重たい荷物をわざわざ運ばなければいけないのかというと、それはその重たい荷物が大切なものだからです。置きっぱなしにするわけにはいかない、価値ある荷物だから苦労しても運ぶのです。その荷物を投げ出すことが休むのではなくて、イエスさまと一緒に担うのです。

いろいろなことが毎日の生活に起こりますが、イエスさまと一緒に担ってくださっているのでも心配ありません。一人では倒れてしまうような問題があっても、パートナーであるイエスさまがいるから心配いりません。イエスさまと一緒に歩くことだけを忘れずに今日も一日を過ごしましょう。



◆お祈り

「天の父なる神さま、私と一緒に荷物を担ってくださるイエスさまを忘れずにいつも生活できるようにお守りください。」  
(川奈聖書教会牧師 山口光仕)